

家庭学習のすすめ

学習したことが身に付きます！

学校で学んだことを家庭で復習することによって習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算などは、繰り返し練習することで定着していきます。反復練習が「わかる！」「できる！」という自信につながります。また、予習をすることで、授業が分かりやすくなります。

脳の働きが活発になります！

読み・書き・計算を何度も繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、繰り返し使うことによって活発に働くようになり、さまざまなことに順応できるようになります。心身の発達が著しい成長期に、どんどん鍛えたいものです。

学習習慣が力を伸ばします！

毎日、決まった時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、忍耐力が養われます。それが当たり前の習慣になると、学ぶ力が大きく伸びていきます。テレビやゲーム、スマートフォンなどの利用ルールも決めて、誘惑に打ち勝つ自己調整力や判断力、集中力を育みましょう。

家庭学習の習慣化 3つのポイント

家庭学習の習慣化のために家庭でできることは、落ち着いて学べる環境づくりです。まずは家族が協力し、次の3つのポイントを意識して取り組んでみましょう。

◆ポイント1 「生活のリズムを整えましょう」

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される生活習慣や食習慣を規則正しく整えましょう。
- ②運動習慣をつけて基礎体力を養いましょう。運動習慣は睡眠の質の向上にもつながります。
- ③家族で話し合い、子どもの意見も聞きながら、学習・生活習慣のきまりや、テレビ・スマートフォン・ゲームなどの家庭ルールをつくりましょう。

◆ポイント2 「学ぶ雰囲気をつくりましょう」

- ①学習は、静かで集中できる環境で取り組むことが大切です。家族の協力は不可欠です。
- ②身の回りの整理整頓をさせ、ゲーム機など気が散るようなものは置かないようにしましょう。

◆ポイント3 「子どもとの対話を深めましょう」

- ①学校での様子などを聞き、子どものがんばりや困り感を理解するようにしましょう。
- ②新聞記事やニュースを話題にして、社会へ目を向けさせましょう。



学力向上は生活習慣の形成から！

お子様の学力向上には、学習習慣はもとより、生活習慣が大きく関わっています。「早寝・早起き・朝ごはん」や「自主的な家庭学習」の習慣が身に付いている子は平均正答率が高いという結果が、学力調査から明らかになっています。

ご家庭では「あきらめず、粘り強く取り組む姿勢や態度」を育ててあげてください。学力向上のために、生活習慣の形成から取り組みましょう。

チャレンジ自主学習・中学生

学校の宿題から自主学習
までの流れの参考例です。
学校の宿題から自主学習
までの流れの参考例です。

STEP1 宿題

STEP2 基礎力アップ

- ・学級・家庭でどのような学習方法があるか考え、記入しましょう。
- ・友達に勉強の方法を聞き、自分にあった学習方法を見つけましょう。
- ・e ライブラリ等で自分に合った学習を行いましょう。

共通	国語	社会
・授業の振り返り(書き直し) ・ノートまとめ(語句の意味) ・ ・ ・ ・ ・ ・	・書く (漢字、熟語を使った短文) ・音読(教科書、古典) ・文法 ・ ・ ・ ・ ・	・まとめる (人物、出来事、政治、文化) ・調べる (地名、気候の特徴) ・ ・ ・ ・ ・ ・
数学	理科	英語
・計算 ・誤答問題書き直し ・ ・ ・ ・ ・ ・	・まとめる (観察・実験方法、薬品名、 注意事項、結果・考察) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・音読(教科書) ・書く(単語、基本文) ・ ・ ・ ・ ・ ・



STEP3 思考力・表現力 自ら学ぶ力アップ



思考力・判断力	自ら学ぶ力
・要旨まとめ(新聞記事) → 自分の考え (教科書、本) → 字数制限した文 ・英語3文日記 ・問題を自作 → 友達に出し、解説をする ・ ・ ・ ・ ・	・e ライブラリ → 自らの実力に応じた問題選択 ・学習動画を視聴 → 要点をまとめる ・ ・ ・ ・ ・ ・

